

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

教科・科目	公民・倫理	学年	第1学年	教科書	高等学校新倫理 最新版 (清水書院)
		単位数	2単位	副教材	詳解 倫理資料集 新訂版 (実教出版)

学習目標
 人間は自己と世界についてどのような思索を積み上げてきたか、その歴史と現状を学ぶことによって、人間と社会について視野を広げ、人間性に対する洞察力を育てるとともに、現代社会が直面する問題を自分の課題として自覚する。また学習した知識を活用して、それらの問題を、対話・討議を通じて考察することにより、論理的な思考力と社会認識能力を育てる。

学習方法
 ・哲学、宗教を中心に、今日の文明の形成に大きな寄与をしてきた思想家の業績と、その影響について系統的に学びます。
 ・単に知識として身に付けるだけでなく、現代における私達の生活の中に具体的な問題を発見し、考察を深める手立てとして、それらの知識を活用することを目指します。そのために小論文・レポートや、討議・発表を課します。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 資料活用の技能	④ 知識・理解	⑤
	① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 資料活用の技能	④ 知識・理解	⑤
	① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 資料活用の技能	④ 知識・理解	⑤
	① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 資料活用の技能	④ 知識・理解	⑤
	① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 資料活用の技能	④ 知識・理解	⑤

評価の観点	① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 資料活用の技能	④ 知識・理解	⑤
授業への取り組み	○				
課題提出	○				
課題内容	○	○	○		
定期試験	○	○	○	◎	
観点別比重	10%	20%	20%	50%	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法	
1学期	現代における自己の課題	6	1 人間とは何か 2 青年期の課題と自己形成	・人間性の特徴 ・人生における青年期	・人間性の特徴に関心を持ち、具体的に考察できる。 ・青年期の特徴を、自身の課題にひきつけて考察できる。 (以上①～④)	・授業への取り組み ・提出プリント・レポート ・定期試験	
	人間としての自覚と生き方	10	1 人生における哲学 ※ 日本の風土と外来思想の受容① (日本の風土と伝統)	・神話 ※ 日本における神話的思考 ・古代ギリシア哲学(哲学的・理性的思考の始まり・ソクラテス、プラトン、アリストテレス、)	・思想史についての基本的な知識を持つ。 ・先哲の諸概念について、正しく理解し、これを自分の言葉で表現できる。 ・現代の具体的な課題に関心を寄せ、その考察に学習内容を応用し、自分の見解を構成・表現できる。 (以上、①～④)	・授業への取り組み ・提出プリント・レポート ・定期試験	
		10	2 人生における宗教 ※ 日本の風土と外来思想の受容② (西洋近代思想の受容)	・宗教の基礎知識 ・ユダヤ教～キリスト教 ※ キリスト教と日本人 ・イスラーム ※ 現代における異文化理解	・思想史についての基本的な知識を持つ。 ・先哲の諸概念について、正しく理解し、これを自分の言葉で表現できる。 ・現代の具体的な課題に関心を寄せ、その考察に学習内容を応用し、自分の見解を構成・表現できる。 (以上、①～④)	・授業への取り組み ・提出プリント・レポート ・定期試験	
2学期	人間としての自覚と生き方(続き)	6	2 人生における宗教 ※ 日本の風土と外来思想の受容③ (仏教の伝来と隆盛)	・古代インド思想～仏教 ※ 日本の仏教	・思想史についての基本的な知識を持つ。 ・先哲の諸概念について、正しく理解し、これを自分の言葉で表現できる。 ・現代の具体的な課題に関心を寄せ、その考察に学習内容を応用し、自分の見解を構成・表現できる。 (以上、①～④)	・授業への取り組み ・提出プリント・レポート ・定期試験	
		6	3 人生における知恵	・孔子 ・孟子と、その後の儒家の展開 ・老子と荘子の思想 ※ 東アジア古典思想の日本への影響			
3学期	現代社会と倫理	14	1 現代に生きる人間の倫理 (1) 人間の尊厳 (2) 自然や科学技術と人間とのかかわり ※ 生命と倫理 ※ 環境と倫理	・近代文明の特性(人間観・自然観・宗教観の転換) ※ ルネサンスと宗教改革 ・近代科学の性格 ・近代科学の方法の祖としてのF.ベーコン ・日常生活における科学的認識 ※ 現代の科学技術が提起する課題	・思想史についての基本的な知識を持つ。 ・先哲の諸概念について、正しく理解し、これを自分の言葉で表現できる。 ・現代の具体的な課題に関心を寄せ、その考察に学習内容を応用し、自分の見解を構成・表現できる。 (以上、①～④)	・授業への取り組み ・提出プリント・レポート ・定期試験	
3学期	現代社会と倫理(続き)	3	(2) 自然や科学技術と人間とのかかわり(続き)	・近代的理性の確立者としてのデカルト	・思想史についての基本的な知識を持つ。 ・先哲の諸概念について、正しく理解し、これを自分の言葉で表現できる。 ・現代の具体的な課題に関心を寄せ、その考察に学習内容を応用し、自分の見解を構成・表現できる。 (以上、①～④)	・授業への取り組み ・提出プリント・レポート ・定期試験	
		15	(3) 自己実現と幸福 ※ 幸福と功利 (4) 民主社会における人間のあり方 2 現代の倫理的課題 ※ 現代の諸課題と倫理	・ドイツ古典哲学(カントの実践哲学を中心に) ※ カントとの対比で、イギリス功利主義。 ・近代自然法、社会契約説(ホブズ、ロック、ルソーを中心に) ※ 以上の内容との関連で、適宜、現代思想を扱う予定。			
合計時数(50分授業)		70					